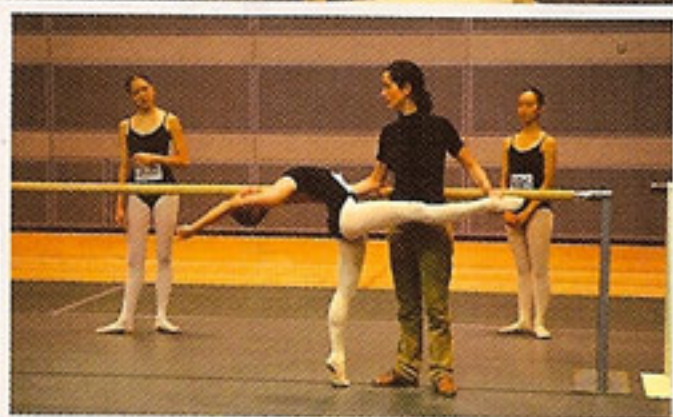
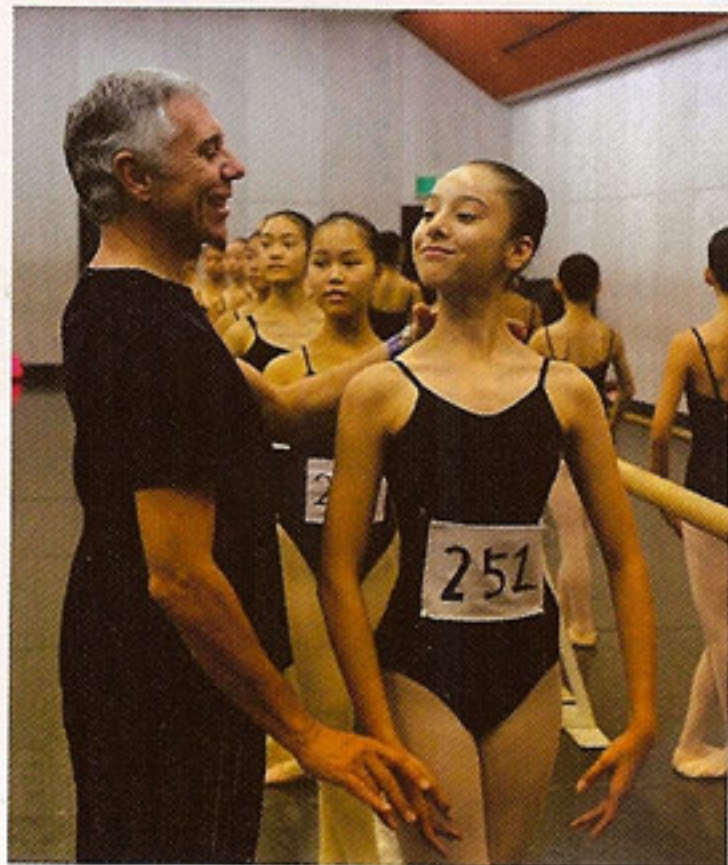


ダンスがあれば、毎日をもっと楽しい!

**dancedancedance**

ダンスのある生活を提案するライフスタイル誌



関西バレエ通信 vol.2

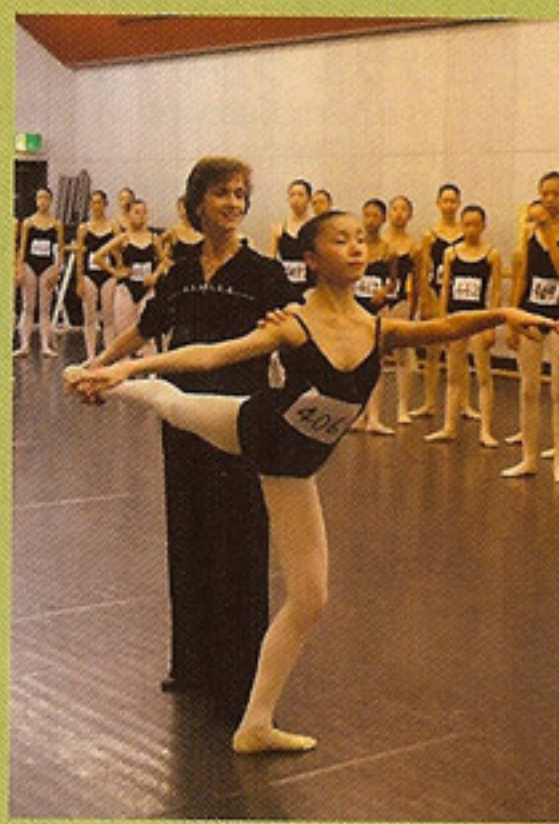
# BALLET NEWS From KANSAI

いま西のバレエがこんなにおもしろい!  
関西在住舞踊ジャーナリストが個性的なステージを  
ピックアップ!

今回PICK UPしたステージはコレ!  
若手バレエ・ダンサーたちの華麗なる戦い!  
『ユース・アメリカ・グランプリ(YAGP)  
2008日本予選』

[公演名]  
[ユース・アメリカ・グランプリ(YAGP)  
2008日本予選]  
[日時]  
2007年11月8(木)~11日(日)  
[場所]  
尼崎市アルカイクホール・オクトホール

text Atsuko Suzuna 菘あつこ  
関西在住舞踊ジャーナリスト。「朝日新聞」  
「SWAN MAGAZINE」(平凡社)、「バレリー  
ナへの道」「大人からのバレエ」等に執筆。  
2007年度文化庁芸術祭(関西・舞踊)審査委員。  
DDD「バレエってスピリチュアル!!」でも執筆中。  
著書「ココロとカラダに効くバレエ」。



関西ではバレエ公演だけではなく、国際的なコンクールも開催される。「ユース・アメリカ・グランプリ(YAGP)」は、若手バレエ・ダンサーを対象に、世界中の一流バレエ団付属バレエ学校への留学のチャンスを与える世界最大規模の国際奨学金コンクールだ。いわば一流のバレエ・ダンサーになるための登竜門のようなもの。1999年にNYで、元ポリシヨイ・バレエのダンサーであるラリッサ&ゲナディ・サヴェリエフによって創設された。例年日本予選が行われ、年齢、カテゴリーによって分けられた上位12名がNY決選に進むことができるシステム。また、少数ではあるが予選の段階で留学先が決定するダンサーもいる。今年日本予選が、兵庫県尼

**PRE-COMPETITIVE** プリコンペティティブ部門



1位

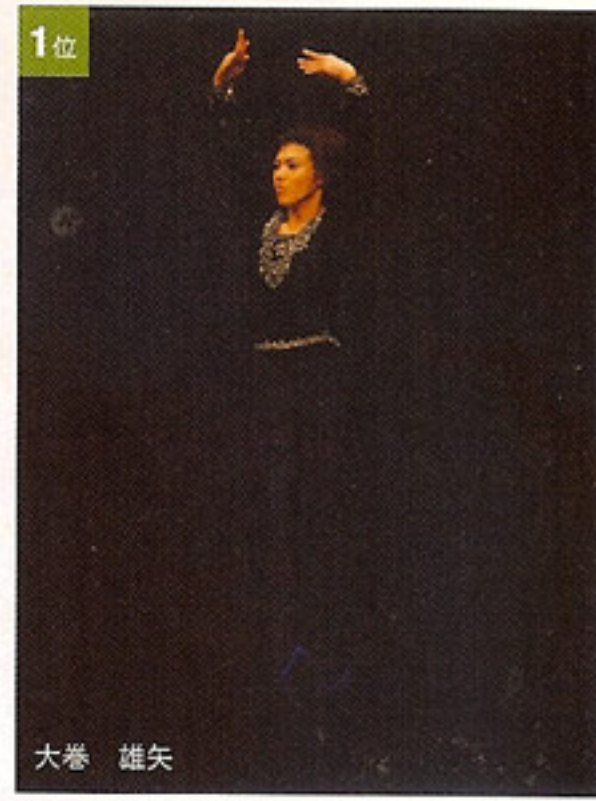
奥園 将文

**SENIOR** シニア部門



1位

馬場 彩



1位

大巻 雄矢

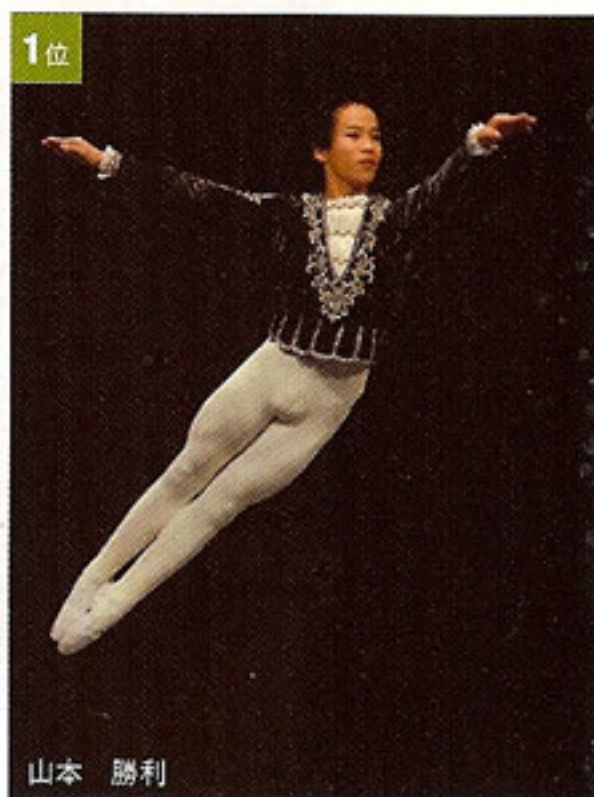
photography Hideaki Tanioka

**JUNIOR** ジュニア部門



1位

小川 華歩



1位

山本 勝利

**【ユースアメリカグランプリ(YAGP)2008日本予選 審査結果】**

プリコンペティティブ部門(9~11歳)

- 第1位 奥園 将文
- 第2位 安井 悠馬
- 第3位 柴平 くるみ

ジュニア部門(12~14歳)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| [女性]      | [男性]      |
| 第1位 小川 華歩 | 第1位 山本 勝利 |
| 第2位 榎本 朱花 | 第2位 山田 翔  |
| 第3位 山本 景登 | 第3位 高橋 裕哉 |

シニア部門(15~19歳)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| [女性]      | [男性]      |
| 第1位 馬場 彩  | 第1位 大巻 雄矢 |
| 第2位 隅田 咲  | 第2位 岩本 弘平 |
| 第3位 大吉 優華 | 第3位 田村 幸弘 |

コンクール結果について詳しくはホームページへ。

<http://www.yagp.org/japan/>

崎市のアルカイクホール・オクトホールで、11月8~11日に行われた。

訪れたのは最終日の11日、日本予選ファイナル。審査員席に並ぶのは、英国ロイヤル・バレエスクール校長のゲイリー・ストック氏、スイス・タンズ・アカデミー！チューリッヒ校長のオリバー・マッツ氏、オーストラリアン・バレエ・スクールヘッド・オブ・ジュニア・スクールのリー・ラウルス氏をはじめ、世界の主要バレエスクールの教師たち。彼らは審査だけでなく、ワークショップの指導も行う。つまり参加者は全員、成績に関わらず世界の有名教師から4日間に渡って基礎レッスンを受けることができるのだ。若いバレエ・ダンサーの学ぶ意欲を願って創設されたコンクールならではの、その他にもダンサーを育てる工夫はたくさんある。例えば、アワードセレモニーの後、渡されるジャッジペーパー。そこにはそれぞれの先生の採点とともに、ちょっとした一言アドバイスが書かれている。憧れのバレエ学校の先生からの一言は、若いバレエ・ダンサーにとって大きな励みになるに違いない。

さて、コンクールの結果は以下のとおり。プリコンペティティブ部門、1位の奥園将文が踊ったのは『パキータ』からのバリエーション。弾むように登場し、飛ぶ喜びが伝わる踊りだった。ジュニア部門女子1位は『エスメラルダ』のバリエーションを踊った小川華歩。美しく長い脚で、ハツラツとしていて客席へのアピールも充分だった。男子1位は『白鳥の湖』の王子のバリエーションを踊った山本勝利。ゴムのような柔らかい運動能力を見せた。シニア部門の女子1位は、こちらも『エスメラルダ』のバリエーションの馬場彩。首が長く顔が小さいバレリーナ体型、シャープな魅力を見せてくれた。そして男子1位は『ジゼル』よりアルブレヒトのバリエーションを踊った大巻雄矢。彼は審査員全員一致でのトップだったようだ。

表彰式後、審査員のドイツ・ミューンヘン・バレエ・アカデミーのキャロライン・ローカ氏に日本の若いバレエ・ダンサーへメッセージをいただいた。「みなさん回転技で、3周、4周とたくさん回ろうとするけれど、それよりもまずきちんと美しく回れることが大切です。まず、1~2周をきちんと正確に回れるように稽古を積み重ねてください」とのこと。確かに日本のバレエを学ぶ子どもたちの多くは、複雑な技を習得することに力を入れすぎてしまっているようだ。決勝戦は2008年4月16~21日にニューヨークで行われる。